

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「常に子ども達にとってのよりよい環境づくりをめざし、子ども達一人ひとりの大切な命を守ります。」「養護と教育の一体となった保育を進め、豊かな人間性を持った子どもを育成します。」という2つの理念が明文化されている。これに基づく基本方針として、「すべての人に「ていねいに」「やさしく」「大切に」接します。」「あなたに会えてうれしい」という気持ちで、無条件に子ども達を受け入れます。」「相手の心の痛みを自分のものとして受け止め、互いに尊重する心を育てます。」という3つの基本方針を掲げ、園の目指す方向性と考え方を明確に示している。理念・基本方針については、職員会議での読み合わせを通じた職員への周知を図るとともに、園内掲示やホームページを通じて保護者への発信にも努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の制度動向等の把握については、市担当課、所長会議、関係機関・団体からの情報提供や、各種研修への参加等を通して情報収集に努めている。また、地域ごとの園児数の推移や保育ニーズを分析し、中長期的な状況を予測した上で経営方針を決定している。複数園の運営により広域的な視点での分析が可能であり、地域の子育てニーズに即した経営に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の子育てニーズへの対応、人材確保・育成・定着、保育の質の向上、施設整備、地域貢献、経営体質の強化など、具体的な経営課題を明確化し、改善に向けた取り組みを進めている。複数園が相互に補完し合いながら安定した運営を確保するとともに、職員体制の充実と人材育成を着実に進めて</p>		

いる。
改善できる点／改善方法：

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中長期的な保育ニーズの動向を予測し、経営組織・財務管理・人事管理・事業管理を柱とした5年間の運営計画を策定している。0・1歳児の入園希望者の減少や延長保育需要の増加など、保育ニーズの変化を的確に捉え、持続可能な経営に向けた実施項目を明示した計画となっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中長期計画を踏まえ、年度単位の事業計画を策定している。保育・児童福祉制度の動向や地域の保育ニーズを把握し、地域性や園の独自性を反映させ、経営全体を見据えた内容となっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は職員会議等を通じて職員の意見を反映しながら策定し、年度当初の職員会議や研修を通じて周知を図っている。行事等の計画については前年度の振り返りをもとに担当者が中心となって検討・策定し、職員間で共通理解を図ったうえで実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者への周知については、行事や活動についての計画を中心に、園内掲示するとともに、園だより等への掲載やホームページを活用した周知に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>年度当初の目標設定と定期的な自己評価による目標管理を実施するとともに、定期的な第三者評価の受審を通じて組織的な質の向上に取り組んでいる。月案・週案の作成にあたっては各年齢の発達に応じた保育内容を検討し、実践後の検証と改善を通じて次年度の計画に反映させている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>自己評価および第三者評価の受審結果から把握した課題については、職員会議等を通じて改善策を立案し、保育実践への反映に努めている。また、行事等を通じて、園全体の評価・分析を定期的を実施し、その結果に基づく計画的な改善に取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>運営規程において管理者の役割と責任を明文化し、昼礼や職員会議等を通じて職員への周知を図っている。園長は日々の昼礼に参加し、発生する事案に対して方針と対応策を迅速に示すことで、組織的な意思決定の徹底に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法令遵守に関する研修への参加やマニュアルの整備を通じて、職員のコンプライアンス意識の向上に努めている。法律・会計・労務管理の各分野における外部専門家の指導により、法令改正への迅速な対応体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	<p>Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は日常的な業務を通じて職員の意見を把握し、施設運営への反映に努めている。月案・週案の作成にあたっては各年齢の発達に応じた保育内容を検討し、実践後の検証と改善を行っている。また、定期的な面談を通じた助言・指導により、保育の質の向上に向けたリーダーシップを発揮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員育成やICT化の推進、書類の簡素化など、費用対効果を考慮した業務改善と経費節減に取り組むとともに、適正な職員配置と専門家の指導のもと経営体質の強化を図っている。具体的には、デジタル機器の活用による業務効率化や各種システムの整備・導入により、登降園管理や保護者との連絡体制、園児の健康・安全管理の充実を実現している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>大学への求人活動に加え、人材紹介の活用等、多様な求人チャネルを通じた人材確保に努めている。保育士不足の状況においても工夫した採用活動により質の高い人材の確保・育成を実現するとともに、OJT指導や相談体制の充実による定着の促進や働き方改革の推進にも積極的に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 社会保険労務士の指導のもと人事考課基準を整備し、客観的な評価体制を構築している。管理職による随時の個別面談を通じて職員の就業状況や意向を把握し、改善につなげている。また、有給休暇の完全消化や時間外労働の管理、定期的な健康管理等、職員の働きやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 時間外労働の定期的な管理により、適切な就業環境の維持に努めている。職員会議等を通じて就業状況や意向を継続的に把握し、必要に応じた改善を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくりに取り組んでいる。福利厚生については共済会への加入や健康診断、職員相談の実施等、充実した支援体制を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 年度当初の目標設定、期中のフィードバック面談、期末の達成評価を組織的に実施し、目標管理を通じた職員育成に取り組んでいる。就業規則に基づき必要な研修への参加を推進するとともに、外部講師を活用した専門的なプログラムを日常の保育に取り入れている。また、新人職員に対しては定期的なサポート体制を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 年間研修計画を策定し、新人研修やOJT指導、階層別・テーマ別研修、園内外の研修など多様な研修体制を整備している。開園時間の長さによる研修時間確保の課題に対しては、専門講師の活用により日常の保育実践を通じた職員の技術向上を図る等、工夫した研修体制を構築している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新人研修やOJT指導、階層別・テーマ別研修、公開保育など多様な研修を体系的に実施し、研修機会の充実を図っている。研修後は報告書を作成し、職員会議での共有を通じて全職員への周知を徹底している。また、専門講師による実践的な研修を取り入れるなど、研修内容の充実に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生受け入れマニュアルを整備し、養成校と連携しながら積極的な受け入れを継続している。受け入れの意義・方針を職員間で共有するとともに、事前のオリエンテーションや実習期間中のカンファレンス・振り返りを通じて、体系的な指導体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページを通じて施設概要・サービス内容・決算情報など園運営に関する情報を幅広く公開するとともに、ワムネットの電子開示システムを活用して事業・財務情報や第三者評価の結果を適切に公開し、運営の透明性確保に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
22	<p>II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>経理規程を整備し、事務・経理・取引のルールを定めている。外部の専門家による指導を受けながら適正な運営に努めるとともに、法人の理念や価値観を職員間で共有し、経営方針を統一している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
<p>II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>		

23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 地域行事への参加や未就園児親子との交流活動、民生委員・児童委員との意見交換、小中高生の保育体験の受け入れなど、地域の特性を活かした多様な交流活動に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		
<p>改善できる点／改善方法： ボランティア受け入れマニュアルを整備し、職員への周知を図るとともに、希望者に対して積極的に対応できる受け入れ体制を確立している。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 市担当課や医療機関、学校、保健センター、子ども相談センターなど地域の関係機関・関係団体との連携を密に図り、職員間でのネットワーク共有にも努めている。マニュアルに関係機関との連携体制を図式化し、連絡方法や関係機関一覧を整備することで、迅速な対応ができる体制を構築している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 地域の福祉・子育てニーズの把握に向け、関係機関との連携や体験入園・園庭開放・子育て相談など、地域に開かれた活動を通じた継続的な情報収集に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉑・c
<p>良い点／工夫されている点： 地域の子育て拠点施設として、園庭開放や子育て相談、親子教室、地域交流など地域のニーズに応じた多様な活動に取り組んでいる。入園希望者の見学には随時対応し、地域に開かれた施設運営を実践している。</p>		

改善できる点／改善方法：

社会福祉法人の使命として、今後とも潜在的な地域ニーズの継続的な把握に努めるとともに、公益的な地域貢献活動のさらなる拡充に向けた取り組みに期待したい。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 勤務マニュアルに子どもの人権擁護に関する留意事項を明記し、職員会議や研修等を通じて職員間の共通理解を図っている。園児名簿の性別によらない整備や、クラス会議での不適切な保育防止に向けた定期的な取り組みの位置づけなど、人権に配慮した保育の実践と見直しに組織的に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 子どものプライバシー保護に関するマニュアルを整備し、職員会議や研修等を通じた職員の意識向上に努めている。相談時の個室対応や視線への配慮、年齢に応じた男女別の着替え環境の確保など、日常的な保育場面においてプライバシー保護に配慮した実践に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページや入園案内を通じて保育内容や取り組みに関する情報をわかりやすく提供している。また、見学希望者には随時対応し、園の詳細について丁寧に説明するなど、利用者の問い合わせに積極的に応じている。		
改善できる点／改善方法：		

31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園時には入園のしおりや入園案内を用いてわかりやすく説明するとともに、職員紹介の配布により保護者が職員を把握しやすい環境を整えている。また、園だよりや各種クラス便り、ホームページ等を活用した情報提供により、サービス内容の周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスの変更や転園に際しては、子どもの生活の継続性に配慮した対応を行っている。就学時には進学先の小学校へ児童要録を送付し、転園時には保護者の同意のもと関係記録を転園先に引き継ぐなど、円滑な移行に努めている。また、保育修了後も相談に応じる体制を整え、継続的な支援につなげている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者懇談や各種検診の機会を通じて保護者の意見・要望を収集している。保護者参加の機会を積極的に設け、その都度満足度を把握するとともに、改善点をクラス会議等で検討し次回へ反映させる仕組みを整えている。また、保育参観等の際に、積極的な声かけにより収集した意見・要望を職員会議で分析し、保育の質の向上につなげている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情受付窓口・対応責任者・第三者委員を設置する等、苦情解決体制を整備し、園内へのポスター掲示等を通じて利用者への周知を図っている。保護者からの苦情や意見に対しては迅速に対応するとともに、全職員への情報共有により組織的な対応に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		

<p>保護者への積極的な声かけ等のコミュニケーションに努めるとともに、意見箱の設置や個別相談スペースの確保等、意見・要望を伝えやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 日頃から保護者との信頼関係の構築に努め、気軽に意見を伝えられる環境づくりを心がけている。保護者からの苦情や意見に対しては対応マニュアルに基づき迅速に対応し、保育内容や運営の見直しにつなげている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの安全確保に向けた各種マニュアルを整備し、迅速な対応手順を定めている。事故発生時には原因を検証し、全職員で共通理解を図るとともに、再発防止に取り組んでいる。また、定期的な安全点検やヒヤリハットの共有を通じて、危険箇所の改善に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 感染症対応マニュアルを整備し、研修の実施や日常的な消毒・換気・健康観察の徹底など、組織的な感染予防対策を講じている。アルコール消毒の設置や体温測定、流行時のマスク着用徹底など状況に応じた対策を強化するとともに、感染症発生時には罹患状況を保護者へ迅速に周知する体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 災害時対応マニュアルを整備し、毎月の避難訓練の実施や消防署による毎年の指導を通じて、実践的な災害対応力の向上に努めている。緊急時の安否確認・連絡はメール配信システムにより迅速に行える体制を整えるとともに、施設内の地震対策など安全確保に向けた環境整備にも取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>全体的な計画を基本として年間計画・月間指導計画等を体系的に整備している。また、各種マニュアルの整備と職員研修を通じて支援の質の標準化を図るとともに、職員会議やクラス会議における管理職・主任からの指導を通じて、保育方法や職員の関わり方に関する共通理解の徹底に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種規程・マニュアルを定期的または随時見直し、サービスの標準化に取り組んでいる。年間計画の検討時に標準的な実施方法を検証するとともに、前年度の計画との比較・検証を通じて改善を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>統一した様式と手順に基づき、アセスメントを実施している。入園時には各種調査書や健康診断を通じて子どもと保護者の生活・健康状況を把握し、入園後も保護者懇談や連絡帳、定期的な身体測定、登園管理システムの記録等、多様な手段を活用して継続的な情報収集に努めている。把握した情報は随時更新・記録し、保育実践への反映を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画の見直しは、保育実践の振り返りと職員会議での課題検討、保護者の意向を踏まえて定期的実施している。未満児は月ごと、以上児は年3回の評価・見直しを管理職の指導のもと行い、その結果を次年度の計画に反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育は指導計画に基づき実践され、子ども一人ひとりの発達・生活状況や保育の経過が児童票・個別記録に継続的に記録されている。登降園管理システムを活用した情報共有体制を整えるとともに、支援や記録のあり方について職員間で継続的に検討を行い、記録の標準化に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個人情報保護規程に基づき、記録の保存・廃棄等を厳重に管理している。各種調査票・児童票・個別記録を整備し、変更事項は定められた手順に従い速やかに更新するとともに、登園管理システムを活用した一元的な記録管理体制を構築している。また、研修等を通じて職員の個人情報保護意識の向上に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「全体的な計画」は、法人の理念と基本方針を土台に、幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」を見通しながら丁寧に編成されている。各年齢の指導計画も同様に立案され、期ごとの振り返りを通して課題を確認し、次の期の実践へと着実につなげている。法人の理念・基本方針を年齢ごとに読み解き、前年度の課題やチーフ会議での提案を全職員で確認しながら計画に反映するとともに、各クラス会議での子どもの姿の共有が全体的な計画の編成に活かされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>この春に新園舎が完成し、看護師２名が配置されたことで、衛生面・安全面への配慮がより丁寧に行われている。職員会では看護師が中心となって資料を準備し、保育者と留意点を共有しながら環境整備を進めており、職員全体で子どもの安心につながる体制づくりが図られている。保育室ではおもちゃの配置や見通しのよい空間づくりに工夫が凝らされ、子どもが楽しく過ごせる環境が整えられている。また、室内環境については契約している学校薬剤師の定期的なチェックと助言を受けながら整備されており、専門的な視点を取り入れた環境づくりが行われている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園では保育マニュアルを整備し、保育の手順や勤務の心得だけでなく、子どもへの関わり方についても共通理解が持てるよう工夫されている。このマニュアルを基に、職員が子どもの言葉や気持ちを否定せずに受け止め、思いを引き出す関わりを大切にしている。日々の保育では、子どもの気持ちに寄り添いながら丁寧に話を聞き、必要な援助を落ち着いて行うことで、子どもが自分の言葉で思いを伝えられるよう支えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日々の子どもの姿を丁寧に観察し、基本的な生活習慣の定着状況を把握しながら支援を進めている。トイレトレーニングや衣服の着脱等も、急がせるのではなく、子ども自身が「やってみたい」「できた」と感じられるような関わりを大切にしており、達成感が自信につながるよう配慮されている。また、広い園庭を活かし、天候や気温に応じて無理なく体を動かせるよう環境を整えている。思い切り走ったり遊んだりできる場が確保されているほか、体育指導の外部講師による活動を通して、子どもができることを増やし、意欲や自立心が育つよう支援が行われている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもが「やってみたい」という気持ちを大切にし、自由遊びだけでなく、散歩や集団活動等、子どもの思いに寄り添って多様な遊びを選べる時間を確保している。雨の日もホールで体を動かす活動を設定し、運動量が十分に確保できるよう工夫している。また、「行きたくない」「やりたくない」と意思を示す子どもには、一人でじっくり遊べる玩具を用意し、自分で活動を選べるようにしている。コーナー遊びやグループでの関わりを通して、友だちとのやりとりや協力する力が育つよう環境が整えられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>0歳児保育は実施していないため非該当</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりが安心して遊びに向かえるよう、丁寧な関わりを通して自己肯定感が育つことを大切にしている。室内やデッキ等、複数の場を柔軟に活用し、子どもの自我の芽生えを受けとめながら、その子のペースに合わせた生活が送れるように援助している。また、日々の様子は連絡帳を通して保護者に丁寧に伝えられ、家庭との連携を図りながら子どもの育ちを支えている。遊びの場面では、友だちとの関わりや自我の育ちが自然に促されるよう、多様な遊びを取り入れ、安心して挑戦できる環境が整えられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年齢に応じた環境設定が行われ、子ども一人ひとりの主体性を尊重した保育が実践されている。保育室の掲示コーナーには、節分をテーマにした各年齢の絵が展示されており、3歳児は自由な表現を楽しみ、4歳児は顔の構成を意識し、5歳児は全体像を捉える等、発達段階に応じたねらいが丁寧に反映されている。作品からも子どもの成長過程が自然に伝わってくる。また、異年齢での交流の機会を多く設け、3～5歳児が活動を共にする場をつくることで、社会性や思いやりが育ち、また、戸外でも一緒に遊ぶ中で、自然な関わりが広がっている。保育室には気持ちを落ち着けて過ごせるカームダウンスペースが整えられ、子どもが安心して好きな遊びに向かえるよう環境が工夫されている。さらに、県警の「自分を守る5つの提案」について、なかよし集会で伝える等、安全教育にも継続的に取り組んでいる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○a・b・c

<p>良い点／工夫されている点： 障がいのある子どもに加配保育者を配置し、個別計画に基づいて一人ひとりに応じた支援を行っている。また、職員会で特性や配慮点を共有することで、全職員が同じ理解で関われる体制が整えられている。保護者とは連絡ノートを通して日々の様子を伝え合い、家庭との連携を大切にしている。また、「エールぎふ」等の専門機関とも協力し、園での姿を踏まえた支援方法の検討を進めている。さらに、研修で得た知識を職員間で共有し、発達に合った玩具の整備など環境面の工夫も重ねている。こうした取り組みの中で、周囲の子どもたちも自然に関わりを深め、共に生活する姿が育っており、障がいのある子どもが安心して過ごせる環境が整えられていることがうかがえる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2- (9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 早朝から夕方までの時間帯ごとに担当保育者がほぼ固定されており、子どもたちは安心して一日を過ごしている。延長保育では「延長保育連絡メモ」や口頭での引き継ぎを活用し、必要な情報が確実に共有されるよう配慮されている。また、18時以降はアレルギーフリーのおやつを提供し、職員室に隣接した部屋で家庭的な雰囲気の中、マットやじゅうたんを使ってゆったり過ごせる環境が整えられている。長時間在園する子どもには、穏やかに関われるよう保育者が意識して援助しており、異年齢で過ごす時間が自然な育ち合いの機会にもなっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2- (10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 多くの校区から通う子どもたちが安心して就学を迎えられるよう、校区内の小学校との交流を継続して行っている。訪問活動では小学生と一緒に遊ぶ機会を設け、学校生活への見通しが自然に持てるよう配慮している。また、ことばの教室とも親学級を通して連携し、必要な支援につながる関係づくりが進められている。5歳児には2月に個別懇談を実施し、保護者が就学に向けて相談できる場を設けている。園では「幼児期に育てほしい姿」を踏まえ、園長の指導のもとで保育所児童保育要録を作成し、就学先へ丁寧に送付している。隣接小学校の教務主任とも連絡を取り合い、子どもの姿を共有しながらスムーズな接続を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 健康管理

		第三者評価結果
IV-3- (1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	(a)・b・c	
<p>良い点／工夫されている点： 登園時に保護者から体調の変化を聞き取るとともに、保育者が視診で確認することで、子どもの健康状態を丁寧に把握している。また、健康チェック表を活用して家庭での様子も共有し、朝礼や昼礼では各クラスの情報を報告し合い、全職員が子どもの体調を共通理解できるようにしている。さらに、看護師が2名常駐しており、1名はクラス担任として日常の姿を見守り、もう1名は全園児の健康管理を担当している。季節の病気や注意点は職員会で共有され、保護者にもお便りを通して発信されている。また、看護師は毎日子どもの体調を確認し、必要に応じておやつの調整など細やかな対応を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
IV-3- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a)・b・c	

<p>良い点／工夫されている点： 内科・歯科健診を年2回実施し、事前に保護者へ調査票の記入を依頼することで、気になる健康状態を把握している。必要に応じて嘱託医に相談し、その結果を保護者へ丁寧に伝えている。健診結果は児童票に記録し、職員室で保管するとともに、担任が必要に応じて確認できる体制が整えられている。また、健診で共有すべき事項がある場合は昼礼などで職員間の共通理解を図り、日々の保育に反映している。さらに、「ほけんだより」を通して季節ごとの感染症や予防に関する情報を発信し、家庭との連携にも努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： アレルギーのある子どもについて、入園時に医師の診断書と「アレルギー疾患生活管理指導表」等の書類を提出してもらい、医師の指示に基づいて対応を進めている。職員会では特性や注意点を共有し、全職員が共通理解をもって関わられるようにしている。また、保護者とは毎月必ず面談を行い、献立表を確認しながら除去食の日を一緒に把握している。除去食は名前の表示や食器の色分け、タブレットでのチェックなど複数の方法で確認し、誤配膳が起きないように丁寧に対応している。さらに、主治医の指示に基づき、年2回の診断書提出や毎日の検食を通して、お菓子や調味料を含む完全除去で安全な食事提供を徹底している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-4 食事

		第三者評価結果
<p>IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>		<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 子どもが無理なく食事を楽しめるよう、個々の食欲や体調に合わせた量の調整を丁寧に行い、配膳時には子ども自身の意思も尊重している。ホールでのランチルーム活動を取り入れ、年齢を超えて一緒に食べる機会をつくることで、食事の時間をより楽しい交流の場としている。年長児には給食用ボードを活用した食材クイズを行い、食への関心を自然に深められる工夫がある。絵本や紙芝居等の食育教材も取り入れ、食べ物への興味を育む環境が整えられている。また、量の調節がしやすい食器の工夫や、行事食の切り方や形のアレンジ等、子どもが「食べられた」という達成感を味わえるような細やかな配慮が随所に見られる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>		<p>(a)・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 子どもが安心して食事を楽しめるよう、離乳食の展示も行い、家庭との共有を大切にしている。衛生管理はマニュアルに基づき丁寧に実施され、検食では副園長が味や硬さを確認してから提供する等、安全性への配慮が徹底されている。栄養士と調理員は残食量を把握し、担任と連携しながら調理法の工夫や改善を進めている。クラスでは担任も一緒に食卓を囲み、食材の話題を通して自然に興味を育つよう関わっている。食器は持ちやすさや形状に配慮したものを選び、旬の食材を取り入れた季節感のある献立を、年齢に合わせた調理で提供するなど、子どもが「おいしい」と感じられる環境づくりが丁寧に整えられている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事務的な連絡は保育園支援システムのアプリで行いながら、送迎時には保育者が積極的に声をかけ、日々のやりとりを大切にしている。未満児については、保護者が連絡帳に記入した食事・排便・睡眠などの情報を確認し、家庭の様子を踏まえて保育を進めている。また、園だよりやクラスだより、以上児の日報を通して日々の活動や子どもの成長を伝えているほか、必要に応じてドキュメンテーションを作成し、迎えの際に保護者が子どもの姿を具体的に感じられるよう工夫している。個別の相談があった場合は、すぐに昼礼や職員会で共有し、全職員で対応できる体制を整えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時の会話や連絡帳でのやりとりを通して、日々のコミュニケーションが丁寧に行われており、保護者が気軽に相談しやすい雰囲気づくりが大切にされている。保護者から相談を受けた際には、すぐに昼礼や職員会で共有し、全職員が一体となって対応できるようにしている。また、連絡帳に大切な記述があった場合はコピーして保管し、今後の支援に活かしている。さらに、保護者参加の行事では、子どもの成長を共に喜び合える機会を設け、家庭と園が同じ思いで子どもを見守れるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>登園時の視診でけがやあざ、着衣の変化などに細かく目を配り、子どもの様子を丁寧に確認している。日ごろの姿に不安が見られた場合には、すぐに園長・副園長・主任へ報告し、記録に残す体制が整えられている。また、必要に応じて専門機関へ速やかに相談できる仕組みも確保されている。さらに、今後は家庭での虐待だけでなく、園内での不適切保育についても職員への周知を進め、研修を通して意識を高めていく姿勢が示されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日々の保育を保育日誌に記録し、評価や反省を通して実践を振り返る仕組みが整えられている。また、年間指導計画の期ごとの評価や課題を記載することで、自らの保育を見直す機会を継続的に確保している。さらに、年に一度は園長が作成した自己評価表に基づき、自身の実践を振り返り、必要に</p>	

応じて園長面接を行う等、個々の成長を支える取り組みも行われている。振り返り際には、単なる感想にとどまらず、子どものエピソードや事例をもとに改善点を話し合い、専門性の向上につなげている。

改善できる点／改善方法：

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>正面玄関をオートロックとし、来園者にはインターホンで対応するなど、日常的に安全確保へ配慮した体制が整えられている。また、子どもの通用門も施錠する等、しっかりと管理している。さらに、民間警備会社による24時間警備や、園内外に設置された多くの防犯カメラによる常時録画が、防犯対策として大きな役割を果たしている。不審者情報が届いた際には園内掲示で職員に周知するとともに、緊急時には連絡システムで全保護者へ迅速に連絡できる仕組みが整備されている。加えて、毎年不審者対応訓練を実施し、職員が緊急時の対応を確認し合う機会を設けている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
VII－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年度当初に行事予定表を配布し、園だよりやクラスだよりを通して参加日時を丁寧に知らせることで、保護者が予定を立てやすいよう配慮している。また、保護者の負担にならない範囲で保育参観を実施し、子どもの姿を身近に感じられる機会を大切にしている。さらに、参加が難しい保護者にはドキュメンテーションを作成して日々の様子を伝え、送迎時の会話でも補いながら、子どもの成長を共有できるよう工夫している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
VII－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	○a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者の多くが就労している状況を踏まえ、保護者会役員への負担が過度にならないよう配慮しながら活動を支援している。役員会には園長または副園長が参加し、議題や課題について丁寧に相談に応じることで、保護者が無理なく運営に関われる体制づくりが進められている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	○a・c

良い点／工夫されている点：

校区内の小学校との交流を継続して行い、訪問活動を通して子どもたちが小学生と一緒に遊ぶ機会を設けている。こうした体験は、就学への期待や安心感につながっている。また、就学時には各小学校へ保育所児童保育要録を送付し、子どもの様子を共有しながら情報交換を行っている。

改善できる点／改善方法：